



授業参観・救急救命法講習



6月18日(土)、「土曜行事」という形で、今年度最初の授業参観、そして保護者の方々にも参加してもらっての救急救命法講習を開催いたしました。

雨天にもかかわらず、21名の保護者の方が授業を参観してくださり、救急救命法講習にも9名の方が参加してくださいました。

昨年度はコロナ禍の影響で実施できませ

んでしたが、今年度は熊野市消防署紀宝分署のご協力で3名の隊員の方を派遣していただき、心肺蘇生法(胸部圧迫)とAEDの使用法について丁寧に指導していただきました。

6月に開催された学校運営協議会の席でも、

高齢化の進むこの地域では、災害時に際し、中学生の存在は非常に大きい。



との意見が委員の方から出されましたが、今回の取組も、「地域を支える存在」としての中学生の役割の一助となれば…と思います。「頼もしい・頼れる中学生」をめざしていきたいですね。

地域清掃活動～きれいな町をよりきれいに



6月29日(水)の第5限、これも例年行っております「地域清掃活動(相野谷中学校環境デー)」を実施しました。炎天下のかなり暑い中ではありましたが、生徒・職員ともに熱中症対策を十二分に考慮した上で、約40分間、町内のゴミ拾いに取り組みました。

A～E班の5つのグループに分かれて、それぞれの担当ルートのゴミを分別しながら回収していましたが、私が特に驚いたのは、

相野谷は、本当にポイ捨てゴミが少ない！

ということです。



生徒たちの近くを通りかかった地域の方が、「ゴミ拾いしてくれとるんや。でもここゴミ少ないやろ。わしらいつも掃除とるもん」と、笑いながら声をかけていったそうです。

でもやっぱりあるところにはあるもので、全部でポリ袋3枚が一杯になるくらいのゴミを回収することができました。

ゴミの少ないきれいな相野谷。素敵な私たちの故郷です。「きれいな町をよりきれいに」を合い言葉に、今後もこの活動は続けていきたいと思えます。



福祉体験学習～「体験」と「交流」



6月30日(木)の3～4限、紀南聴覚障害者福祉協会の塩崎 美紀・正司 ご夫妻と、手話通訳者の西 佐暢子さんをお招きして、1年生を対象とした「福祉体験学習」を実施しました。

「①自分のプロフィールカードを塩崎さんに渡し、ジェスチャーで塩崎さんに自己紹介する」「②自分のプロフィールカードを手話でどう表すか、塩崎さんに学ぶ」「③塩崎さんご夫妻に、これまでどんな暮らし(苦労や工夫)をし

てきたか、お話しいただく」といった授業内容で、ほぼ2時間みっちり、体験と交流を行いました。

最初は緊張気味だった生徒たちも、塩崎さんご夫妻の気さくなお人柄と西さんの「あうん」の通訳に引き込まれ、途中からは「近所のおじちゃん・おばちゃん」に接するかのごとく、和気あいあいとあの手この手でコミュニケーションをとろうと必死になっていました。



さまざまな立場の人たちとの「共生」(他者とともによりよく生きることができる)。これが人権教育の究極の目標です。そして他者と共生するためには、「他者のありのままを知り、認めること」が大前提となります。そのためのもっとも効果的な教育活動が「体験」と「交流」なのです。

さまざまな立場の人たちと、日常的に「出会い、ふれあい、学び合う」中で、自分と違う立場の人たちに対する「差別」や「偏見」というものは自然と解消されていきます。



「いじめはいけない!」、「差別はなくすべきだ!」との確固たる姿勢を大人が示し続けることはもちろん大切なことです。ですが、それを子どもたちに教条的に押しつけるよりも、子どもたちが自然に適切な人権感覚を培えるような場面を、教育活動の中でより多く設定していくことが大切のように思います。